



しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO. 8
(通巻139号)
平成29年(2017)
7月3日(月)

『Be Ambitious!』

校長 飯野 博史

梅雨明けが待たれる時期となりました。楽しみな夏休みまでもう少し…。気持ちを引き締めて生活していきましょう。夏休みに入りすぐに三者面談を行います。保護者の皆様、ご協力よろしくお願いいたします。

先日、安芸の宮島を見学した後、山口県の萩に行きました。吉田松陰出身の地、世界遺産にも登録されている松下村塾、松陰神社などを以前から見学したいと思っていました。

吉田松陰は明治維新の原動力となった人物とも言われますが、二十九歳の若さで罪人として幕府により処刑されてしまいました(安政の大獄)。短い人生でしたが、その間、松下村塾を開き、高杉晋作、木戸孝允、伊藤博文などといった、激動の時期にあってリーダーとして活躍する人物たちを育てました。吉田松陰、高杉晋作の生涯については司馬遼太郎の『世に棲む日日』(文春文庫)にいきいきと描かれています。

バスガイドさんが、吉田松陰のことを「先生、先生」と呼んでいて、今でも地元の人に愛され親しまれていました。

吉田松陰の開いた松下村塾を見ると、大変狭く、小屋のような建物で、よくこんな粗末なところで勉強し、立派な人物が育っていったものと驚きました。

松下村塾を見て、松下村塾と同じような感想をもった場所を思い出しました。福島県猪苗代にある、野口英世の生家です。

私の母が会津若松出身なので、私は子供の頃から野口英世の生家、記念館を何度か訪れたことがあります。貧しい農家で、野口英世が赤ん坊の時、左手に火傷をした囲炉裏が大切に保存されています。左手の火傷のため野口英世はいじめに遭い、その悔しさをバネに勉強し、優秀な成績で学校を卒業、医学を志したと言われていました。

海外にも研究に行くことになり、母親思いの野口英世は遠い外国からお母さんに何通もの手紙を書いたそうです。しかし、英世の母親は学問がなく、字の読み書きがほとんどできなかつたそうです。母親は何とか子供に手紙を書きたい、という思いから一生懸命に字の練習をしました。貧しい家ですから紙なども十分にありません。囲炉裏の灰に火鉢で何度も字を書いては消し、書いては消して覚えたということです。たどたどしい字で母親が英世に送った手紙が記念館に残っています。親子の情がにじみ出ています。

野口英世の生家を見ると、英世も母親もよくこんな狭く暗い所で勉強したものと驚かされたものでした。

こうしてみると、施設や設備が十分に整っていなくても勉強はできるということではないでしょうか。もちろん施設や設備が揃っているに越したことはありませんが、大切なのは将来や勉強に向かう意欲、情熱、志ではないでしょうか。

先日の運動会スローガンは「Be Ambitious! 勝利を目指せ! ~新しい一歩を踏み出そう~」でした。「Be Ambitious」を英和辞書で引いてみると「大きな志をもちなさい。意欲的であれ」と出ていました。勉強にもスポーツにも、人生にも、意欲や志が大切ということではないでしょうか。

もうすぐ35日間の夏休みが始まります。夏休みの目標や計画をしっかりと立て、実行する力を身に付けてほしいと思います。将来の夢や目標に向かって「Be Ambitious!」、充実した夏休みにしていきましょう。期待しています。

◎生徒の活躍

- ・東京都中学校バドミントン春季大会目黒区予選大会 4/30
第3位 女子ダブルス ○○○○さん・○○○○さん
- ・東京都中学校バドミントン夏季大会目黒区予選大会 6/18
優勝 男子ダブルス ○○○○くん・○○○○くん

◎小・中連携「二校研修会」 6/28

八中を会場に、大岡山小学校との連携「二校研修会」を行いました。研修テーマは「自ら学び考え、行動できる児童・生徒の育成」です。まず大岡山小の先生方に、5校時全学級の授業を見ていただきました。大岡山小出身の生徒たちがたくましく成長している様子に先生方も驚いたようでした。

授業を見ていただいた後に「国語」「数学」「英語」「実技教科」「学習」「生活」「養護」の7分科会に分かれて話し合いを深めました。それぞれの分科会で課題を共有し、今後の小中連携に生かしていきます。

今後、6年生授業・部活動体験、6年生と中学2年生の交流会、いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議などの連携を予定しています。

大岡山小との連携を深め、9年間を見通して八中校区の子供たちを育てていきます。



◎7月14日（金） レモンさん講演会

『70周年記念人権特別講演会』

演題「子どもの人権 大人の責任」

1時30分 本校体育館

山本シュウさんを講師にお迎えし、「70周年記念人権特別講演会」を開催します。

P T A 教養部主催「家庭教育講座」として実施するものですが、身近ないじめの問題などについて子どもと保護者が一緒に講演を聞き、親子で話題を深めたいという要望が保護者の方からあり、実現する運びとなりました。

山本シュウさんのお話、どんなお話が飛び出すか楽しみです。保護者、地域の方、たくさんの方の参加をお待ちしています。

《山本シュウさんプロフィール》

合言葉は「We are シンセキ！」

1964年4月24日 大阪府門真市出身。現在は東京在住。0よりのA型 ラジオDJ。

筋金入りのフリースタイルな生き方は、子どもの頃から近所のオッチャン、オバちゃん、ヤッチャンのお節介で育てられたおかげ。

もちろん、オヤジ、お袋には、人とのつながりの大切さ、「生きてるだけで、笑ってだけで幸せや！」っていうことを教わった。

NHK・Eテレ、JFN38局ラジオなど各局の番組で活躍中。（NHK・Eテレ 日曜夜7時「バリバラ」司会者）イベントにも司会などで登場。

独自にトークライブも定期的に行い、笑い感動を与え続けている。

大きなレモンの被り物をし、「レモンさん」というキャラクターで、小学校のP T A 会長を5年間務め、その後もP T A 顧問を続けている。



※ 八ヶ岳自然宿泊体験教室、2学年校外学習の様子は次号に掲載します。

